受付印

給与支払報告 特別徴収 に係る給与所得者異動届出書

整理番号	

（宛先）河内長野市長

令和　　年　　月　　日 提出

給与支払者（特別徴収義務者）		
所在地	〒	
名称		
個人番号又は法人番号		

担当者		
課係		
氏名		
電話番号		
内線		

令和6年度	特別徴収指定番号	
	宛名番号	
令和7年度	特別徴収指定番号	
	宛名番号	

給与所得者			（ア）特別徴収税額（年税額）	（イ）徴収済税額	（ウ）未徴収税額（ア）－（イ）	異動年月日	異動の事由 ※事業主及び従業員の希望のみによる普通徴収への切替はできません。	異動後の未徴収税額の徴収方法
フリガナ		新姓		例）11月10日納期限分の場合→10月分				
氏名								
生年月日	明・大・昭・平　　年　　月　　日 生							
個人番号								
住所	1月1日現在		円	月分から 月分まで 円	月分から 月分まで 円	令和　年　月　日	1 転勤・転籍 2 退職 3 死亡 4 休職 5 長欠 6 支払少額 7 支払不定期 8 その他（　）	❶ 特別徴収継続 ❷ 一括徴収 ❸ 普通徴収（本人が納付）
	異動後							

❶特別徴収継続の場合（給与所得者が、新しい勤務先で特別徴収を希望する場合に記入してください。）

新しい勤務先（特別徴収義務者）			
所在地	〒	特別徴収指定番号	担当者 氏名 / 電話
名称	フリガナ	法人番号 ※新しい勤務先が法人の場合は、ご確認の上記入してください。	

新しい勤務先へは、
月割額＿＿＿＿＿＿＿＿円を＿＿＿＿月分（翌月１０日納期限）から
徴収し、納入するよう連絡済です。

※新しい勤務先へ月割額をお伝えください。

受給者番号	
納入書の要否（新規の場合のみ記載）	1 必要　　2 不要

❷一括徴収の場合（未徴収税額を一括徴収する場合に記入してください。）

該当する項目に○をしてください。

1　異動年月日が１２月３１日以前でかつ本人からの申出があったため。
2　異動年月日が１月１日以降でかつ特別徴収継続の希望がないため。

徴収予定額（（ウ）と同額）を右欄に記入	円

左記の一括徴収した税額は＿＿＿＿月分（翌月１０日納期限）で納入します。

❸普通徴収の（一括徴収しない）場合（❶・❷に当てはまらない場合に記入してください。）

該当する項目に○をしてください。**なお異動年月日が１月１日～４月３０日の場合は、原則、一括徴収してください。**

1　異動年月日が６月１日～１２月３１日でかつ本人からの申出がないため。
2　異動年月日が１月１日～４月３０日でかつ給与及び退職手当等から未徴収税額（ウ）を一括徴収できないため。
3　死亡による退職のため

旧特別徴収処理欄				入力者	点検
	6年度	月分以降の月割額は	1 特別徴収義務者を変更 2 普通徴収へ切替 3 一括徴収 4 その他		
	7年度	月分以降の月割額は	1 特別徴収義務者を変更 2 普通徴収へ切替 3 一括徴収 4 その他		

注意事項等

1　本書は、特別徴収の（個人の市町村民税・道府県民税（住民税）を給与差引きしている又は特別徴収の給与支払報告書を提出した）従業員等が、異動（退職・転勤等）した場合にご提出いただく用紙です。
提出期限は、該当従業員等の異動があった月の翌月１０日までです。従業員等の住所変更のみの場合は、提出不要です。

2　太線枠内を記入してください。

3　給与所得者本人が国外に出国されるなどの場合は、納税管理人の届出が必要となります。詳しくは、市町村へお問い合わせください。

A	B	C	D	E	F